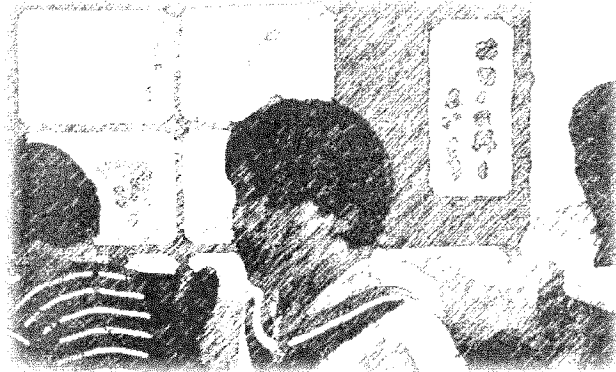
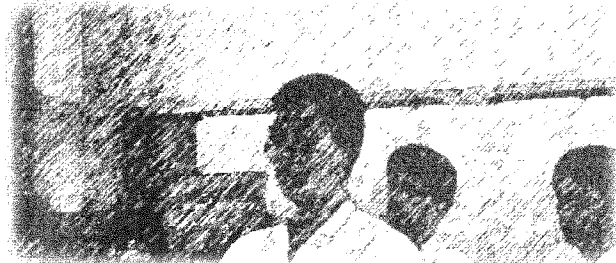
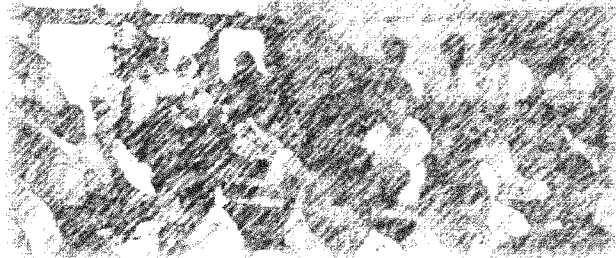


国連NGO横浜国際人権センター・うずしおランチ T-over人権教育研究所・人権こども塾ニュース

生涯の絆を育む板野中学校の人権・部落問題学習④ ～気軽に部落の人間と言える社会に～

部落を、自らの思いを語る時、生徒は涙します。そして、その涙を振り払うように生徒は語り続けます。その仲間の姿に応えようと、一人ひとりの自問自答が深まり、広がっていきます。

この共感と連帯の絆を育む語り合いは、さまざまな発言へとつながっていきます。



自分から心を開き、互いに本音をぶつけ合うことを期待するM・Mの語り

やっぱり、自分から心を開くことによって友だちも心開いてくれるということが、今、本当にわかってきたと思います。心を開くことにより信じ合う友ができ、お互いに本音で思いをぶつけ合うことができると思います。お互いに涙が出るというのは、涙を流す友だちの気持ちはわからないことはないけど、これからの学習によって涙は出てこなくなると思います。

実際に、僕もこのクラスでは、信頼している友はたくさんいるし、全体的にも友だちはたくさんいる方だったけど、表面的な友だちがほとんどで本当に信じ合った友だちはあまりいなかったと思うんです。でも、この学習によって、信じ合える友だちが僕自身の中で増えていったと思います。自分から心を開くことによって、まわりの人も心を開いてくれたことが本当にうれしいです。心開いてもまわりに反応がないんだったら、少しもおもしろくないと思います。

この頃、公開授業や全体学習のある場面で口先だけでいい意見を言ったって、公開授業や全体学習の別の場面で寝ていたりする子が目に入ったら、とても腹が立って、めったに怒らんつもりなんだけど、自分でも押さえきれんぐらい腹が立つ時があるんです。でも、押さえないかんと思って押さええています。みんなも頑張してほしいと思います。

語り合う仲間に思いを伝えるS・Eの語り

みんな泣きながら語ってくれているのに、涙が出てこん自分に腹が立つんだけど、心の中は泣きたい気持ちでいっぱいです。

話は最初にもどるけど、M・OさんがさっきT・Kさんの力になれないと言ったけど、みんな部落出身だと打ち明けた後も、いつも通り接していくこと自体が、その子の力になって一緒に闘っている証拠だと思います。

挙手をし、語ることの重要性を訴えるY・Iの語り

私もM・Oさんの意見についてだけど、私も、M・OさんはT・Kさんの力になれていないと言っていたけど、ここで手を挙げて発表することが、その人を支えていくことなんだと思います。

今日一度も発表していない人があると思うけど、ここで座ってお客さんのまま終わったら、みんながこうやって心を開いてくれているのに、その人の気持ちを踏みにじることになっていくと思います。

絶対一度は発表してどんなことでもいいけど、その人の思いに応えてください。

一人ひとりの真っ直ぐな思いが、共有され、言葉となり、互いの生きる力となっていきます。

本気の人権学習は、——「すべてを変える」 うずしおランチ共同代表 森口 健司